

## 2022 年度統計関連学会連合第 1 回理事会・組織委員会 議事録

日 時：2022 年 4 月 23 日（土）13:30 – 15:30

場 所：オンラインにより実施

出席者：

### 【学会連合理事】

応用統計学会	瀬尾 隆, 渡辺 美智子
日本計算機統計学会	小木しのぶ, 山本義郎
日本計量生物学会	松井茂之, 寒水孝司
日本行動計量学会	狩野 裕 (委任状), 岩崎 学
日本統計学会	樋口知之 (理事長), 大森裕浩
日本分類学会	宿久 洋, 富田 誠

【連合大会実行委員会】 小森 理, 西山慶彦 (2023 年度)

【連合大会運営委員会】 飯塚誠也, 竹内光悦

【連合大会プログラム委員会】 黒田正博, 橋口博樹

【JJSD 編集委員長】 青嶋 誠

幹事 阿部貴行, 大草孝介, 本橋永至

### 組織委員会・審議事項

組織委員会に先立ち、樋口理事長より、今回より応用統計学会は瀬尾 隆氏および渡辺 美智子氏が新理事となる旨が報告された。

#### 0. 前回議事録の確認

前回の組織委員会の議事録が確認された。

#### 1. 2023 年度連合大会について

樋口理事長より、2023 年度統計関連学会連合大会は、西山慶彦氏（京都大学）を実行委員会委員長とし京都大学（吉田キャンパス）にて開催したい旨が提案され、承認された。西山実行委員長（2023 年度）より、2023 年度統計関連学会連合大会の実施体制、確保している会場の状況および計画について報告がなされた。

#### 2. 2022 年度連合大会運営方針について

小森実行委員長より、2022 年度統計関連学会連合大会（9/4（日） - 9/8（木））の開催方法について次の通り報告がなされた。実行委員会の委員に奥野貴之氏（成蹊大学）および関谷和之氏（成蹊大学）を追加したい旨が提案され、承認された。2022 年度統計関連学会連合大会は、連合大会としては初めてハイブリッド形式で実施する予定である旨が説明され、開催校からのコロナ対策の要請、開会式、会場の計画、

会場内での無線通信環境（eduroam と wifi レンタル）、懇親会、市民講演、チュートリアル計画および準備状況などが報告された。

### 3. 2022 年度連合大会 3 委員会における進捗状況について

黒田プログラム委員長より、プログラム作成について以下の説明がなされ、審議の結果、承認された。

- ・ 開催校からの挨拶を含め、9/5 に開会式を実施する。
- ・ 第 1 回プログラム委員会において、28 件の企画セッションが承認された。
- ・ チュートリアルセッションおよび市民講演会（9/4）はハイブリッド形式で行い、プレナリーセッション（9/5）はオンライン講演を予定している。講演者は決定済みである。
- ・ 一般講演・企画セッションはハイブリッド方式で行う。5 日間のタイムテーブル案も報告された。
- ・ コンペティションセッションは現地会場以外からのオンライン発表とし、審査員や聴講者に対しては視聴用の会場を準備する予定である。審査手順についても説明がなされた。

飯塚運営委員長より、2022 年度連合大会の予算案が提出され、審議の結果、承認された。

大会準備の進捗状況及び予算案に関して、以下の通り報告があった。

- ・ 予算案の収入において、参加者数などは昨年実績を考慮し広告費については過去の現地開催時の実績を参考に見積もりを行った。
- ・ 予算案の支出において、成蹊大学では会場費が不要のため 0 円とした。ハイブリッド開催のため、現地で必要なもの（看板、参加証、名札ケースなど）は過去の実績を参考に見積もりを行った。
- ・ 参加登録や Web システムなどの外注業者は昨年同様、アトラス社とする計画である。現地において、自動受けシステムを導入する。
- ・ 昨年の反省点を踏まえ、Zoom は 2 ヶ月前からの使用で契約する。
- ・ 会議後記録：統計情報研究開発センターからの助成金を活用し、託児所利用費の補助を行う。
- ・ 昨年同様、組織委員会運営費と連合サーバー使用料をそれぞれ 70 万円および 10 万円支出する。

## 連合理事会・審議事項

### 0. 前回議事録の確認

前回の連合理事会の議事録が確認された。

### 1. 2021 年度事業報告・会計報告について

- ・ 阿部幹事より、2021 年度に統計関連学会連合が実施した事業について、以下の通り説明があり、審議の結果、承認された。
  - 統計関連学会連合理事会・組織委員会の開催
  - 2021 年度統計関連学会連合大会の開催
  - Japanese Journal of Statistics and Data Science (JJSD) の発刊
  - 科学研究費補助事業令和元年度研究成果公開促進費（国際情報発信強化）採択に伴う措置
  - 統計質保証推進協会からの業務委託事業の実施

■ 各種事業への共催・後援・協賛

- ・ 阿部幹事より、2021年度の会計報告について説明があり、審議の結果、承認された。また次の通り補足説明があった。
  - 収入は一昨年と同様、統計質保証推進協会からの業務委託料が60万円あった。支出は全体として昨年とほぼ同額であった。単年では黒字の収支であった。なお、残金のうち300万円は連合大会からの預かり金であり、非常事態の際に支出可能なものである。

2. 2022年度事業計画について

- ・ 阿部幹事より、2022年度の統計関連学会連合の事業計画（既に決定しているもの）について、以下の通り説明があり、審議の結果、承認された。
  - 統計関連学会連合理事会・組織委員会の開催
  - 2022年度統計関連学会連合大会の開催
  - Japanese Journal of Statistics and Data Science (JJSD) の発刊
  - 事業委員会、統計教育推進委員会の開催
  - 統計質保証推進協会からの業務委託事業の実施
  - 各種事業への共催・後援・協賛

3. 中長期的な JJSD 出版の財源確保について

樋口理事長より、JJSD 出版に関する費用（250万円＋消費税）の中長期的な財源確保の方策について、以下のように、これまでの経緯の説明および提案があり、審議の結果、承認された。

- ・ 2023年度分まで、日本統計学会の科研費により JJSD 出版経費を支出可能である。
- ・ 提案は次の通りである。
  - (1) 2024年度の科研費取得申請を日本統計学会が行い、それ以降は申請可能な学会が連合理事会などで協議の上、申請を担当する。
  - (2) 科研費申請が不採択の場合は、統計質保証推進協会に財政支援を打診する。

4. 賛助会員への JJSD 冊子郵送について

樋口理事長より、各学会の賛助会員への JJSD 冊子郵送に関して、以下のように、これまでの経緯の説明および提案があり、審議の結果、承認された。

- ・ 紙資源の消費削減および郵送の人的・経済的コストの低減を目的として、賛助会員への JJSD 郵送を極力削減したい。なお、これまで賛助会員へ冊子郵送を行ってきた学会は、既に賛助会員に本件を打診し大きな異論は出ていない。
- ・ 提案は次の通りである。
  - (1) 賛助会員への JJSD 冊子郵送を中止し、その代わりに JJSD 電子媒体へのアクセスコード（AC）を1口から3口に増やす。ただし、賛助会員の要望や学会の都合により郵送を継続することを排除しない。
  - (2) 各学会はそれに伴い必要となる AC 数を事業委員会（あるいは理事会）に連絡し、事業委員会（あるいは理事会）は追加の AC 入手の調整を行う。

## 5. 統計関連学会連合の体制整備について

樋口理事長より、統計関連学会連合の体制整備に関して、以下のように、これまでの経緯の説明および提案があり、審議の結果、承認された。

- ・ 近年の事業委員会の主な役割は JJSD に関わる（出版以外の）業務であったが、当該業務は安定的に行われているため、今後の当該委員会の位置付けや役割・業務を整理したい。
- ・ 今後の事業委員会の役割・業務を定め統計関連学会連合全体の組織図も整理し HP に掲載することを、次回理事会において提案する。

## 連合理事会・報告事項

### 1. JJSD の現状について

青嶋編集委員長より、JJSD の現状について次の通り報告があった。

- ・ 昨年度、JJSD が ESCI (emerging sources citation index) および Scopus に掲載されたことにより、様々な好影響が生じている。編集委員会メンバーの女性比率の適正化を行った。昨年度の掲載論文 52 本中 33 本が海外からの投稿であり国際化も順調に進んでいる。
- ・ 2021 年度の論文投稿数および採択率がそれぞれ報告された。両指標とも改善がみられた。
- ・ 特集号について、2022 年度 6 月号は covid-19 関連、12 月号はデータサイエンス関連を出版予定であり、2023 年度 6 月号は確率過程関連、12 月号は生物多様性関連の特集を組む計画である。
- ・ IF 取得に向けて、種々の活動を継続している。ツイッターによる広報活動も行っている。昨年度は科研費を活用し 3 本の論文の open-access 化を行った。
- ・ 査読日数について、2021 年度は前年度に比べ、投稿から初回返答までの日数が短縮された。査読の速さは雑誌のよさの重要な指標であるため、今後も改善活動を行う。

### 2. 2022 年度連合理事会・組織委員会の日程について

樋口理事長より、2022 年度連合理事会組織委員会の通常のカ開催時期が確認された。次回は、統計関連学会連合大会の最終日 (9/8 (木)) に開催予定である。

### 3. 後援・協賛について

樋口理事長より、前回理事会から本日まで、次の事業・会議に後援したことが報告された。

- ・「数学・数理学専攻若手研究者のための異分野・異業種研究交流会 2022」日本数学会、日本応用数理学会、統計関連学会連合 主催、明治大学中野キャンパス、2022 年 10 月 29 日。
- ・「WiDS Tokyo@ Yokohama City University 第 4 回シンポジウム」横浜市立大学データサイエンス学部主催、2022 年 3 月 8 日。